

1-1. 枚方市駅周辺景観区域

区域の概要

- 枚方市駅周辺は、枚方の顔と言える地域であり、淀川、天野川、万年寺山に囲まれ、自然的にも歴史的にも多くの景観資源に恵まれています。
- うるおいと風格のある都市機能の中核として、また生活に豊かさをもたらす都市文化の発信地としてふさわしい魅力的な市街地の形成を図っていくことが求められます。



■ ふれあい通り

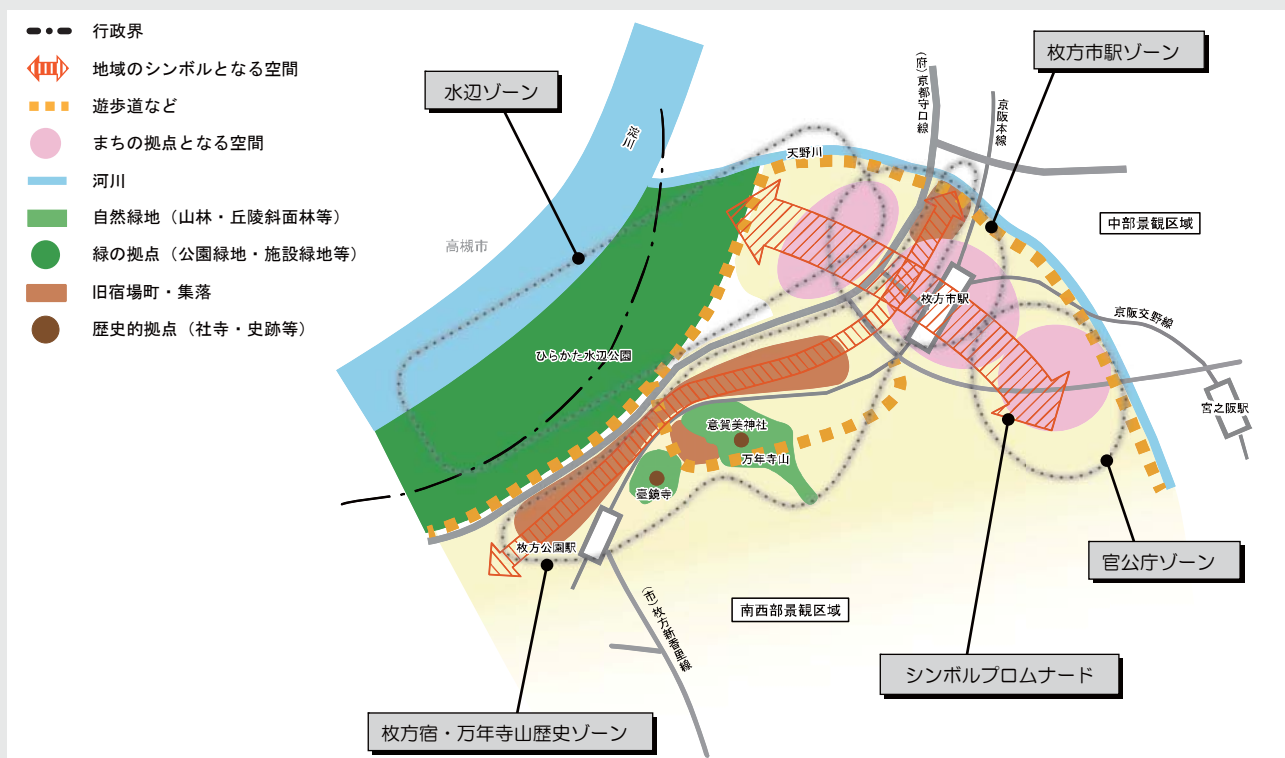
枚方市駅から官公庁団地につながる歩行者専用道路



■ 枚方宿鍵屋資料館

枚方宿の面影
市指定文化財

景観形成イメージ

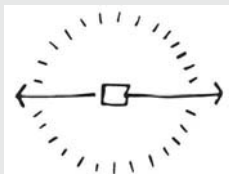


■ 区域の景観資源

淀川の四季（枚方八景）、万年寺山の緑陰（枚方八景）、天野川、田中邸のむくの木、枚方宿鍵屋資料館、意賀美神社、曇鏡寺、京街道、水面廻廊、せせらぎ水路、御茶屋御殿跡展望広場、淀川河川公園（ひらかた水辺公園）、岡東中央公園、万年寺山周道、ふれあい通り、サンシャインロード、枚方カトリック教会、ラポールひらかた、関西医科大学附属枚方病院など

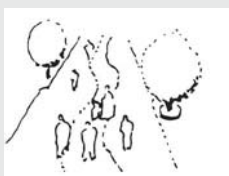
地域特性を活かすために

枚方の顔にふさわしいまちにする



■ 枚方の顔

枚方市駅周辺は枚方の顔となる場所である。



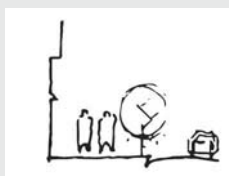
■ 人の歩く道

ふれあい通りは、様々な催事がある市民の交流空間。サンシャインロードは、枚方のメインストリート。



■ 風格のある市街地を形成する

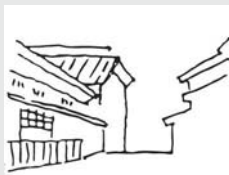
秩序ある良好なまちなみを生み出すようにする。



■ まちのにぎわいを演出する

建築物の1～2階は、行き交う人をなごませるように工夫する。

培われた文化や歴史を大切にする



■ 旧枚方宿

京街道沿いに宿場町のたたずまいが残されている。



■ 象徴的な風景

教会と丘の上のむくの木は地域を象徴する風景となっている。



■ 宿場町のイメージを大切に

建築物の新築、増改築に際しては、旧街道からの見えがかりに配慮する。



■ 象徴的な景観を大切にする

社寺や教会、むくの木が持つ雰囲気壊さないようにする。

まちの背景となる水や緑を活かす



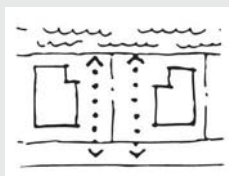
■ 淀川と天野川

淀川と天野川にふちどられている。



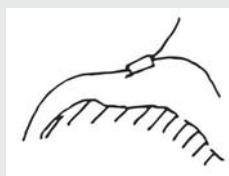
■ 万年寺山の緑

万年寺山の斜面林がまちの背景となっている。



■ 水辺空間を活かす

川に向かって開かれた計画とし、人と水が親しめる空間をつくるように工夫する。



■ 緑の連なりに配慮する

まちなみの背景となる斜面地の緑や丘の稜線の連なりに配慮する。